

マーケットの動き（2026年9月7日～9月11日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で下落（円高）しました。

日銀の利上げペースの加速が引き続き意識されたことや、8日に発表された4～6月期GDP改定値が上方修正されたことなどから、円買いが優勢となりました。その後は、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇や、米国長期金利の上昇を背景にドルが買われる場面もみられましたが、週末には1ドル＝153円台半ばで取引を終えました。

ユーロは前週末比、対円で下落した一方、対米ドルではほぼ横ばいでした。

投資環境見通し（2026年9月）

米ドル、ユーロはともに円に対して当面の上値は抑えられる

米ドル：FRB（米国連邦準備制度理事会）による年内の利上げ観測が残ることや日本の財政拡張政策に対する懸念は円安圧力とみられます。しかし、日米通貨当局の円安阻止に向けた協調姿勢を背景に、ドルの円に対する当面の上値は抑えられるとみています。

ユーロ：ECB（欧州中央銀行）による早期の利上げ観測に加え、日本の財政懸念を背景とした円安圧力が残るとみられます。しかし、日米通貨当局の円安阻止に向けた協調姿勢を背景に、ユーロの円に対する当面の上値は抑えられるとみています。

	9月11日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	153.47	▲2.66	▲5.77	▲5.38	6.28
ユーロ/円	178.25	▲3.11	▲5.56	▲5.48	5.62

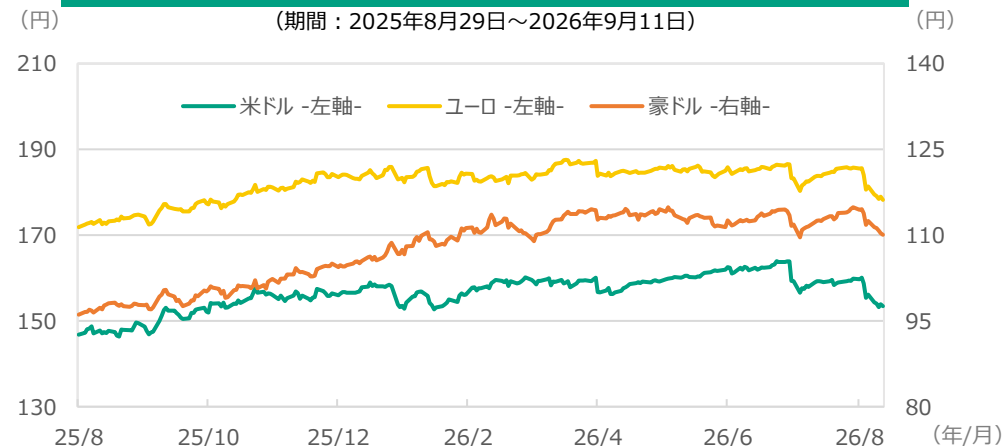
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202609_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）

（期間：2025年8月29日～2026年9月11日）



為替レートの推移（対米ドル）

（期間：2025年8月29日～2026年9月11日）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>